

## 目標指標一覧

### 1 森林づくりの推進

No	項目	考え方	基準 (R2年度)	R4	R5	R6	R7	R8
1 【継】	間伐実施面積 (ha)	間伐が必要な時期にある森林を計画的に間伐していく年間必要面積を考慮して算出	6,871	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600
2 【継】	環境保全林での間伐面積 (ha)	現況人工林から環境保全林の針広混交林になる森林面積を考慮して算出	1,713	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100
3 【継】	観光景観林整備面積 (ha)	観光道路沿線から眺望できる観光景観林の森林整備面積を考慮して算出	75	100	100	100	100	100
4 【新】	事前防災地区数 (地区)	市町村等との連携による治山事業と森林整備を組み合わせた事前防災対策の全県展開を考慮して算出	—	10	10	10	10	10
5 【新】	危険木の除去箇所数 (箇所)	倒木の危険性が高い危険木の除去により整備される箇所数を考慮して算出	66	70	70	70	70	70
6 【継】	山地災害箇所の3年以内復旧率 (%)	災害箇所のうち、復旧工事着手後3年以内に完了する箇所の割合を、早期復旧の必要性を考慮して算出	74	100	100	100	100	100
7 【継】	苗木生産量 (万本)	森林資源の循環利用に必要な苗木の生産本数を考慮して算出	83.9	90	120	150	170	200
8 【継】	人工造林面積 (再造林・拡大造林) (ha)	2050年カーボンニュートラルの実現に向けた二酸化炭素吸収量の目標達成等に必要な面積を考慮して算出	185	300	400	600	800	1,000
9 【新】	市町村による間伐面積 (ha)	森林の適切な経営管理に向け、市町村が主体となって整備することを考慮して算出	161	800	1,400	2,100	2,800	3,500
10 【新】	林業労働災害の発生件数 (件) ※	労働災害発生件数を把握し、森林技術者を確保することを考慮して算出 (木材生産量10万m <sup>3</sup> あたりの発生件数)	12.1	10.0	9.0	8.0	7.0	6.0
11 【継】	森林技術者数 (人)	主として林業現場作業に従事する森林技術者を確保することを考慮して算出	939	980	1,020	1,060	1,100	1,140
12 【新】	新規就業者数 (人)	主として林業現場作業に従事する森林技術者の新規就業者数を確保することを考慮して算出	73	80	80	80	80	80
13 【継】	森林文化アカデミー 森と木のエンジニア科の県内就職率 (%)	森と木のエンジニア科卒業生のうち、県内への就職者を確保することを考慮して算出	74	80	80	80	80	80

※「10 林業労働災害の発生件数」は暦年の数値

### 2 林業・木材産業の振興

No	項目	考え方	基準年 (R2年度)	R4	R5	R6	R7	R8
14 【新】	県内外での県産材住宅の建設戸数 (戸)	県産材住宅の建設戸数の増加によるA材の需要拡大や山元への利益還元を考慮して算出	2,011	2,200	2,225	2,250	2,275	2,300
15 【新】	ぎふの木で家づくり協力工務店数 (社)	県産材を活用した住宅や非住宅建築物の建設戸数の増加によるA材の需要拡大や山元への利益還元を考慮して算出【累計】	113	180	210	240	270	300

2 林業・木材産業の振興

No	項目	考え方	基準年 (R2年度)	R4	R5	R6	R7	R8
16 【継】	非住宅施設の木造化及び内装木質化施設数(施設)	公共施設及び商業施設等の民間施設の木造化・内装木質化施設数の規模拡大を考慮して算出【累計】	18	34	74	115	157	200
17 【継】	県産材製品の輸出量(m <sup>3</sup> )※	海外のニーズ、県産材のPRの進展等を考慮して算出	1,971	2,724	3,068	3,412	3,756	4,100
18 【継】	木質バイオマス利用量(燃料用途)(千m <sup>3</sup> )	木質資源利用ボイラーの燃料として利用される未利用材の需要拡大を考慮して算出	128	147	154	194	208	250
19 【新】	品質・性能が証明された木材製品出荷量(千m <sup>3</sup> )	ぎふ性能表示材等における県産材の需要拡大を考慮して算出	44	54	61	69	77	85
20 【新】	県内における県産材需要量(千m <sup>3</sup> )	森林整備や木材加工・流通等の林業における経済活動の動向を考慮して算出	425	481	493	538	558	606
21 【新】	木材生産林における森林経営計画認定面積(千ha)	林業事業者の事業地確保や木材の安定供給の担保を考慮して算出【累計】	38	46	54	62	70	78
22 【継】	林内路網開設延長(km)	木材生産の低コスト化に欠かせない林内路網の開設延長を考慮して算出【累計】	125	145	280	395	490	565
23 【継】	木材生産量(千m <sup>3</sup> )※	森林整備や木材加工・流通等の林業における経済活動の推進動向を考慮して算出	576	600	612	624	638	650
24 【新】	木材生産性(m <sup>3</sup> /人・日)	県内林業事業者の木材生産性の向上を考慮して算出	5.0	5.7	6.0	6.3	6.7	7.0

※「17 県産材製品の輸出量」と「23 木材生産量」は暦年の数値

3 森林の新たな価値の創造と山村地域の振興

No	項目	考え方	基準年 (R2年度)	R4	R5	R6	R7	R8
25 【新】	森林サービス産業を推進する協議会会員数(者)	森林サービス産業に関心のある企業等の動向を考慮して算出【累計】	—	60	70	80	90	100
26 【新】	森林サービス産業起業家数(者)	森林サービス産業の振興に向け、新たにビジネスを創出する事業者の動向を考慮して算出【累計】	—	0	3	6	12	20
27 【継】	「ぎふ木遊館」入館者数(人)	入館時間の見直し等により「ぎふ木遊館」入館者が増加することを考慮して算出	20,351	30,000	30,000	50,000	50,000	50,000
28 【新】	ぎふ木育サポーター登録者数(人)	木のおもちゃや遊びを通して、「ぎふ木育」を伝えるスキルを習得し、県全体に広く普及することを考慮して算出【累計】	112	200	250	300	350	400
29 【継】	ぎふ木育教室・緑と水の子ども会議参加人数(人)	「ぎふ木育30年ビジョン」の実現に向け、学校等における体験・学習活動を行うことを考慮して算出	5,198	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800
30 【新】	GAP等実践者数(きのこ)(経営体)	岐阜県産きのこの安全性や信頼性の向上、ブランド力強化を考慮して算出【累計】	4	14	21	28	35	42

計	30項目	【新規】15項目 【継続】15項目
---	------	-------------------

【新】：第4期基本計画での新たな目標指標、【継】：第3期基本計画から継続する目標指標